

## 令和2年度 第3回西伊豆町立文教施設等整備委員会会議録

- 1 日 時 令和2年9月29日(火) 19:00~20:25
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館(安良里) 3階多目的ホール
- 3 出欠席 委 員:別紙のとおり  
事務局:鈴木教育長、真野事務局長、朝倉通彰、石田智直、齋藤英知、  
齋藤良久
- 4 傍聴者 2 人:静岡新聞、伊豆新聞

### 事務局長

それでは、皆さんこんばんは。本日はお忙しい中、また夜間での会合にご出席くださいまして、誠にありがとうございます。ただ今から、令和2年度第3回の西伊豆町立文教施設等整備委員会を開催いたします。会を始める前に一部資料の訂正をお願いします。本日の委員会の開催通知の氏名ですが、誤って鈴木教育長の名前で送ってしまいました。当委員会の会議招集につきましては、委員会規則の第6条第1項の規定によりまして、委員長が招集するとあります。高井委員長様の氏名に訂正をお願いします。大変ご迷惑をおかけいたしました。それでは、はじめに高井委員長様より挨拶をお願いします。

### 委員長

それでは、こんばんは。ご苦労様です。毎回、夜間の会議で恐縮です。大変ありがとうございます。よろしくお願ひしたいと思います。それでは、こんな時期で私もも町の会議がこんなに中止になっていまして、整備委員会が唯一やってる会議かなという状況であります。そうした中で、どうしても開かなければならない会議でありますので、皆さんにお集まりいただきました。それでは、これから審議に入りたいと思います。よろしくお願ひします。

### 事務局長

ありがとうございます。それでは、続きまして鈴木教育長より挨拶をお願いします。

### 教育長

改めまして、こんばんは。私が在職中に統合の話とかいろいろ始まった時に複式学級を避けなければというような思いが話の中で出ていましたが、今、残念ながら田子小学校の方で複式学級が実際に始まったわけですが、補助員を入れることで現実的には解消できてるのかなと思います。ただ、これが来年になりますと複式学級を持つ学校、学級の数が増え続けていく状況になっています。その中で補助員を見つけることができるかどうかと大変危惧しているところですが、早く統合することでそういうことを解消させたいという、時間が限られている中、それと場所もなかなか良い場所も見つからないという限定されている中で、皆さんの意見、お知恵を拝借しながら事務局の方でいろいろ考えたり、計画を練り直

したりしながら、1つの方向に進んで行こうと思います。来年の中学統合に向けて、いろいろな面でも着々と人事のことも進んでおります。何とか中学の統合を令和6年度の小中一貫校のそれまでの統合を目指しております。今日は主に説明ということです。皆さまのお力を借りて、またご指摘していただけたらと思います。よろしくをお願いします。

#### **事務局長**

ありがとうございました。続きまして、次第の4の議題に入ります。進行につきましては、委員会規則第5条第3項の規定によりまして、「委員長は会務を総理し」とありますので会議の進行をお願いします。

#### **委員長**

それでは、さっそく議題の方に入ります。議題(1)「文教施設整備事業の進捗状況について」説明をお願いします。

#### **事務局長**

それでは、私の方から文教施設整備事業の進捗状況について、ご説明いたします。

まず、8月4日に開催しました第2回文教施設等整備委員会の結果を受けまして、翌日の8月5日に、町長と今後の方向性について協議を行いました。結果として、保護者説明会でのアンケート結果や委員会での意見を踏まえて、認定こども園の建設予定地は先川地区で進める方向となりました。これを受けまして、議員の皆さまへの説明ですが、8月11日に議会全員協議会を開催し、これまでの経緯、新案のメリット・デメリット、委員会や保護者説明会の意見、保護者アンケート調査の結果、今後の方向性などについて説明し、ご意見やご質問等伺いました。また、9月11日に再度、議会全員協議会を開催し、町として認定こども園の建設予定地を先川地区で進める旨、報告しました。また、関係する予算の執行や必要に応じて補正予算を計上していく旨の報告も合わせて行いました。本日、午前中に全員協議会を開催しまして、その中で統合認定こども園の建設予定地の用地購入等について説明しました。お手元の資料をご覧くださいと思います。航空写真を添付させていただいておりますが、赤く囲んだ所が計画地となっております。位置的には県道沿いの消防署と企業課のちょうど中間の所が予定地となっております。こちらの方をお配りし、議会の方に説明をしたという状況でございます。今後ですが、この用地の購入に向けて補正予算を計上して、承認されましたら用地交渉等進めていきたいと考えております。私からの説明は以上です。このあと、朝倉主幹の方から文教施設整備事業の委託や工事発注等の進捗状況について報告をいたします。

#### **朝倉主幹**

それでは、私の方から令和2年度にここまで発注しております業務委託や工事の方について報告をさせていただきます。まず、6月23日の入札で西伊豆中学校の用地の地質調査業務委託ということでボーリング調査を発注しております。仮設道路を最終的には本設道路としてということでそこを3ヶ所。学校の裏山の予備地対策としてそこを1ヶ所。その他こども園の建築箇所ということで5ヶ所を予定して

おりまして、全部で9ヶ所を予定しておりましたが、こども園を別用地にということになりましたので、最終的には4ヶ所ということで現在、掘り終わったところです。これから地質についての分析ということが現状です。7月14日の入札で現西伊豆中学校の校舎の解体の設計業務委託を発注しております。校舎、給食棟、体育館の解体工事の設計図書を作成していただくということでございます。先週の金曜日、9月25日の入札で工事用の進入路の工事の発注を行っております。令和2年度は体育館の手前から県道の伊東西伊豆線までの延長約186m程度ですが、そこに仮設の道路を通すということでございます。もう一つが敷地の造成の実設計の業務委託を発注しております。こちらについては、今の西伊豆中学校、仁科小学校の用地の造成の詳細設計だとか一部急傾斜地の対策を取るための擁壁の詳細設計になっております。もう一つが地盤変動影響調査ということで文教施設整備事業を実施していく中で、近隣の建物・家屋へ与える影響を把握するための事前調査ということで、中学校の付近の2軒の家屋に対しての事前調査を発注しております。もう一つが小中一貫校の校舎及び屋内運動場（体育館）の設計業務委託ということで建物の基本設計から実施設計までをいっぺんに発注しておりますので、令和2年度から令和3年度、2か年に渡りまして小中一貫校の設計図書の作成の業務委託ということで発注しております。最後に先ほど局長の方からもありましたが、認定こども園の建設予定地に係る用地測量とこども園の大まかな大きさ、平面図とか立面図というものを作成するための業務委託を発注しております。私からは以上でございます。

#### **委員長**

それでは、説明が終わりましたのでそれぞれ質問を受けたいと思います。質問がある方は挙手によってお願いしたいと思います。と言いましても、なかなか質問はないと思います。では、私から素人だから聞きたいのですが、議会の全員協議会で説明をしたそのことが始まらないことには、これから、計画はもちろん、その他のことも進んで行かないということですか。

#### **事務局長**

議員の皆様には、全員協議会を通じて状況報告をしております。それに伴って、予算の執行が進みます。そちらにつきましては、今度用地の購入につきまして一番直近になりますが、補正予算を計上しまして議会の承認をいただければ、用地の購入を進めていくというかたちになりますので、それぞれ事業ごとに予算計上していかなければなりません。それぞれ進めていくという状況でございます。直近では用地購入を議会に上程するということになります。

#### **委員長**

今、言ったのは認定こども園の関係の話。それとも、全体の話。

#### **事務局長**

認定こども園の話です。全体の話につきましては、先ほど朝倉主幹の方から委託業務とか報告がありましたが、こちらの方は実際に予算もいただいて事業を進めて

いる状況でございます。

**委員長**

そういうことだそうです。皆さんありませんか。どんなことでも良いです。

**副委員長**

新しい幼稚園の敷地面積はどれくらいあるんですか。

**事務局長**

面積については、約 5,000 平米になります。

**副委員長**

今より広くなるのか。仁科、伊豆海より広くなるということですか。

**事務局長**

現状の認定こども園よりは広くなります。伊豆海認定こども園の敷地面積が約 3,208 平米、仁科認定こども園の敷地面積が約 3,219 平米という状況ですので、5,000 平米ということになれば約 1,800 平米くらいは広くなるという状況です。

**委員長**

認定こども園の方は全員協議会の議会の方で承認されないことには動きが取れないということですか。

**事務局長**

全員協議会ではなくて、今度は補正予算を今後計上した時に承認いただければ、用地交渉が進められます。

**委員長**

そこで承認されなければ、逆にいうと用地交渉にも入れないということ。

**事務局長**

そうです。予算が確保できないとそこから動けませんので、そのようなかたちになります。

**委員長**

それはスケジュール的にはどうなのか。

**事務局長**

通常でいくと 12 月定例議会になりますが、他の急ぎの案件がありましたら臨時議会を設ける場合もありますので、直近では 10 月中旬に臨時議会を予定しているようですので、その場で計上したいと思っております。

**副委員長**

もう一点、開きたいのですが仁科の敷地が特によく分からないんだけど、ここへ行くには学校を歩いて行く他ない。県道の方から直接、進入できないわけですよ。車はここから上へ通り抜けて県道へは行けないような場所ですか。

**委員長**

地理的に分からない人もいるから見えるように説明してください。

**事務局長**

ちょうど、学校のところに道が見えないですが消防署と企業課の間には道が通

っておりますので、周遊できるような道路があります。幅は約3 m60 cmくらいの道路があります。

#### 委員長

この間、議会の傍聴に行ったら、町長に聞いたら、地盤的にはあそこに消防署があるから大丈夫くらいの話だったけど、大丈夫なのか。

#### 事務局長

地盤的の方については、確かに現状農地ですので若干緩いと想定されます。実際、田んぼになっていきますので、造成工事も含めて進めていきたいと思っております。

それは確実に大丈夫だとは言えないですから、周辺の造成状況の情報もいただいておりますので、どうにか行けると思っております。

#### 委員長

どうですか。

#### 仁科認定こども園PTA会長

こども園の総会を行いまして、文教施設の意見を伝えましたところ、二点ほど出たので言わせてください。一点目が学校を作るのに60億かかるという話で一般の人からしたら、60億というお金がどういう金額なのかピンとこないと言って、その辺が高いのかも安いのかも分からないという話が出てきました。もう一点は、先川に作ることですけど、幼・小・中を一緒にしないのなら今のままで良いのではないかという意見も出ました。以上です。

#### 委員長

60億の金額について感覚的に高い。60億が飛び抜けているが、学校を作るだけではなくて、今の校舎を解体したり、そういった費用もかかってくるのでそういったところも細かく説明してくれる。

#### 朝倉主幹

それにつきましては、私の方から回答させていただきます。60億というところの根拠ですけれども、まず建てるための用地の測量業務とか造成にかかる設計の業務、それに付随する擁壁だとかの業務、先ほど申し上げたボーリング調査とか周辺家屋の影響の調査だとか、あとは先ほどの小中一貫校の建てるための設計業務委託、それと用地取得です。現体育館のところは借地とさせているわけですがずっと借地をしているのであれば買った方が良いでしょうということでそういった用地の取得費。それと小中一貫校を建てるための建設費。プールの建設事業費。グラウンドの整備費用。その工事をするための大型車両を入れるための進入路を確保するための仮設道路の設置。最終的にはそこに町道を通そうというところで用地取得費。それに付随して現況の西伊豆中学校や仁科小学校の既存施設の解体費用。それらが含まれています。合わせて、こども園が同敷地にあっても違う敷地にあってもこども園を建てるための設計の業務委託。こども園の建設費用。それにかかる用地測量や敷地の造成工事などすべてを含んだ事業費という捉え方なので、新聞で下田市さんが20億とかと出ますけど、基本的には建物だけの工事というか、そこに外構工事

も入ってるでしょうけどそういった捉え方だと思っております。なので安易に比較すると誤解を招くというところをご理解いただきたいと思えます。

#### 委員長

今、説明していただいた事でちょっと聞きたいのですが、数字の桁が違う、そういうところの説明が浸透していないとか、充分ではないということがあるのではないか。もう一つの先川へ行かなくても今のままで良いのではないかという話なんですけど、それについてのお答えは。

#### 教育長

東北の被災地に行ってきたのですが、もし津波が来ないのなら確かにそれで良いでしょうけど、津波が来た時にいいんですか。あの時に別のところに移さなかったから、子どもたちが死んでしまった。そういうことがあった時にどのように言えますかということです。なので今できることは、危険なことから避けておきたいなというふうに思っています。

#### 委員長

他にどうですか。

#### 樫 委員

こども園の幼保の関係で、園長先生らと一緒に7回くらい会合をやっているんですが最初からすると、その中で統合するときに要望は出たと思うんですけど、その結果学校を一体型にとなつたはずが、建設費が61億と出た時点で幼保を先川に移せば、50億ぐらいで済むと。その目的のためにだけに幼稚園を先川へ移す。そうしたら、その前にやっていた会合やいろんなことを覆してしまう。任意で受けたアンケートなんかがあったけど、たかが18.8%のアンケートでそれで、民意を受けたというのは如何なものか。数だけの問題ではないと思うが。令和6年、資料に載つてた児童・生徒数がスタート260人、4年後の令和10年が160人しかいません。そういうことを踏まえた中ではたして建物が将来的に必要なのか。そういう意見がこの前あったと思うんですが、これについては町の方ではいろいろな検討はしたのでしょうか。何のために委員会をやるのか、ちょっと考えたら考えられると思えます。以上です。

#### 委員長

我々、これまで3年間最終的にここに行くという案で来たわけです。実際的に無くなっちゃったのという感じですよ。今までの会議は何だったのかというところになっちゃうと思うんだけど、お金の問題とか地盤の問題とかがあるんだけど、今までそのような説明やこれまでの経過の説明がなかったではないか。その経過について、もう一回話してもらえますか。教育長、どうですか。

#### 教育長

私の方も承認当時、第1案として一ヶ所にまとめる案で行くのかなと思っていました。そういう中でやはりお金が61億ではかかり過ぎではないかという批判がたくさん出てきたということをおっしゃいます。それをいくらかかるのか、少しで

も抑えられないかという考えが案としてなされて来たのだと思います。やはり、かかり過ぎではないかというご批判が出ているのだと思います。そもそも、お金がかかる1番の原因は検査費です。最初は30何億というのが60億となったのは、幼稚園の園舎を建てるところを3.5メートルまで盛土をしなければならない。さらに、そうしたことによって単に盛土だけをする造成工事というような大変大きな仕事が発生します。ですので、その工事が要らなくなるならば、その分の例えば造成費用というのが減る。それ以外のことはなかなか削れないと思います。61億の中のまだ未確定になっているプールの問題とか。まだ削らなければならないことを考えれば、プールもどうするか。プールの管理費のことを考えれば無くても良いのかという意見もあるかと思えますし、ぜひ作っていただきたいという要望もあり、経費の問題も踏まえて、検討していかなければならない問題です。

### 樫 委員

ですから、先ほど申しましたスタート時点で260人は間違いです。10年後160人という、こういうことも踏まえた中で去年の秋、コンサルタントの設計が入った時点で設計を見直すという案は出なかったんですか。そのまま上がってきたのでスタートでは、経費がかかるので経費を細工して、少し見直しましょうかというような打合せはなかったですか。そうすれば、幼稚園の先生たちも一生懸命やってきた計画から経費を抑えた設計変更ということが、可能じゃないかとは思いますがいかなものですか。

### 事務局長

実際の計画の時には、児童・生徒の数がこれからどれくらいの推移になるだろうというところで、推移も含めてこの計画を進めて来ております。この中で計画を進めていくというのがまず1点、それとこの施設につきましては6階部分を防災の拠点というもう一つの目的を持っていますので学びと仁科地区の防災の拠点という点も含めて、この施設を活用していくということもありますので、今回の計画を進めております。児童の減少については推計しております。

### 委員長

教育長の説明もあったように、データは難しいと思うがこのように決定したという詳しい説明がないのに変更になった。設計変更とかまったく聞かされてない設計変更もなかったというように聞こえる訳です。子どもの数のことに関しては、私もその時に発言したんだけど西伊豆だけの小中一貫ではなくて高校も混ぜた中高一貫教育はどうですか、そういう考え方もと言って話をしたんですが前任者から一蹴されたんですね。この考え方は小中一貫でその後のことは私たちの代ではないとそういうところも検討はしなかったということはあるんですけど、そういった面も説明して、この先、人口なんか子どもの数もどんどん少なくなってくる中、そういう建物を建てて小中高一貫教育という話が出てきたという話です。

### 副委員長

60億、61億という額ばかりみんなびっくりして、結局それが妥当なのかという

ことだと思っております。これからどんどん人口が増えていって子どもの数も増えていって、これから学校が増えるということならいいのですが、あと、5年や10年経つと子どもがいなくなるって、まったくこの学校はいらないよとなった時に60億はなんだったと心配すると思うんですよね。その辺が一番みんなの心配なところだと思う。実際に町の負担というのはどのくらい。60億のうち、どのくらい国からの補助があり、実際の町の負担というのはどのくらいになるんですか。

#### **事務局長**

実質の町の負担額につきましては、36億7,000万円と予定しております。こちらは61億で想定した場合の町の実質負担額が36億7,000万円という予定でいます。認定こども園を先川の方に動かした場合は実際に57億を想定しております。そのうち、町の実質負担額は31億6,000万円を予定しております。

#### **委員長**

6階部分の防災の関係のものは前回、その中に入れてませんという話でしたがそこは入れてありますか。

#### **事務局長**

細かい防災設備関係については含まれておりません。

#### **委員長**

6階部分の防災関係のものはこれには入れてないということですね。

#### **事務局長**

中身の設備については含まれておりません。

#### **委員長**

その他ありませんか。それでは、また何かありましたら質問を受けますのでお願いします。それでは、議題(2)「新西伊豆中学校保護者説明会について」説明をお願いします。

#### **齋藤専門員**

では、よろしく申し上げます。お手元に開校ガイドブックという冊子があると思うんですが、これを使って説明させていただきたいと思います。委員長、資料を説明した後に二点皆さんに承認していただきたいんですが。一点目は保護者説明会を開催してよろしいかどうかということが一点。そして、その資料を使ってよろしいかどうかということを説明の後に皆さんに聞かせていただけたら幸いです。

#### **委員長**

はい、承知しました。

#### **齋藤専門員**

では、説明させていただきます。中学校の統合準備委員会というのがありまして、そこで運営部会と生活学習部会というのがあってそこに両校の賀茂中学校・西伊豆中学校の先生方が全員振り分けられて協議しました。それをまとめてできたのがこのガイドブックです。ですので、2年間かけて実質は1年半ですけれども、かけて作ったというものになりますのでそのことも含めて報告をさせていただきたいと



思います。表紙をめくって、1ページ目は目次になります。たくさんありますので区切って説明させていただきますが、まず9ページまでの通学援助について説明させていただきます、皆さんにご意見をいただきたいと思います。まず、2ページ目を開いてください。学校概要についてです。名称は西伊豆町立西伊豆中学校。これは保護者のアンケートによって決まっています。住所は現賀茂中学校の住所になります。電話番号もそのまま引き継がれます。学校教育目標は「志高く、未来に向かって学び続ける生徒」ということで、それもほぼ1年をかけてどういう学校にしていこうかということ話し合いながら決めたものです。これは、目標について書いてありますのでまたお読みになってください。校訓をいうものを設けました。新しい学校ですので「志」ということで、これも学校教育目標と同じように目指すところはどこなんだろうということ話し合っ提示させていただきました。これもそこに説明させていただいております。校章ですが、3年間の開校期間しかありませんので、特には設けなくて良いだろうということこれはここの文教の会議で昨年承認されています。校歌に関しても、3年間の開校ということなので校歌は制定しないということと儀式等での校歌は基本的には行わないが、開校中に全校生徒で歌えるような愛唱歌等を今、検討していこうということ進めています。3ページですが、開校までのスケジュールで承認していただきたい項目ですが、11月5日(木)ですが保護者説明会を健康増進センターでコロナの関係があるので少し広い会場でゆったりとやりたい。対象保護者数は生徒数が125名なので兄弟関係を入れても最大120名くらいかなと思いますので、その会場を利用させていただきます。駐車場もあそこなら確保できるかなと思っています。新入生の採寸ということで、現在の6年生を対象にこれも保護者と学校と調整済みです。賀茂小学校は12月3日(木)、これが参観日になっています。田子小学校と仁科小学校は11日(金)に採寸を行って、保護者と子どもたちそれと地元の業者が入ってそして大本はカンコー学生服という会社になりますが、そこが来て採寸をするということです。地元業者は見本を持っていませんのでカンコーの方が見本を全部持っておりますので、そこが行う予定です。それから2月5日(金)ですけれども、新入生のオリエンテーションと新入生保護者説明会をここで行います。3月に卒業式と閉校式を順次行っていきます。閉校式に関しては学校の方に依頼をしていますが、卒業生も含めてということ地元住民もと思いますがコロナの状況がどうなるのか分かりませんがそのところは今、もう少し検討しています。それから3月21日(日)から22日(月)にかけて引越し作業。これは教育委員会職員と教職員で行い、なるべく少ない荷物ということで進めています。そして離任式の後、4月1日(木)に正式に西伊豆中学校の正式業務を始めさせていただきます。5日(月)に登校日で在校生が入学式と開校式の準備に来る。対象学年を何年生にするかを今、検討中だということです。追ってお知らせします。6日(火)に開校式と入学式を行いたいと思います。では、続いて4ページをお願いします。保護者の皆さんにご準備いただくこと(制服編)です。制服はこのように決まりました。新入生に関しては、スーツタイプと

ブレザータイプということになります。在校生の2年3年生は学生服タイプとセーラー服タイプが2種類(西伊豆中学校タイプと賀茂中学校タイプ)となっています。新入生に関しては購入、在校生2年3年生は現状のまま、何も替えなくてもよろしいということで説明させていただきたいと思います。それから5ページです。制服編の続きですけれども、新制服の注文に関しては注文方法というのは下記に仁科衣料組合・田子衣料組合・賀茂衣料組合の5店舗で取り扱うということで明記させていただきました。それから、お下がりができるものということですが、制服・ジャージ・かばん等とありますけれども2年3年はお下がりが可能ですが1年生はお下がりが不可能ということになっています。ベルトやスカートに関しては同じですけれども、男子は黒を。女子のスカートの丈は膝が隠れる程度というところで中学校の生活担当の先生方に確認をさせていただきました。6ページをお願いします。ジャージ・体育着ですけれども、新入生は新モデルになります。薄手ですが、保温性や発汗性にとっても優れたものということでほとんどの保護者がこのタイプでということだったのでそのようにさせていただきました。ベースは紺色でということでしたので紺色のベースで考えています。2年生3年生は現在の物を使用してください。買い替える時は新モデルになりますが、お下がりでも構いませんのでそれは構いません。中に着る白のシャツですが、これは特に決まりはないということです。ワンポイントの物でも結構だということで現状の物で良い。ただ、新入生用に半袖のシャツもありますのでそれが良いなということであれば、下着が透けないようなシャツになっていますのでそういう点の物が欲しいのであれば、それも購入が可能というふうにさせていただきます。それから、ジャージ・体育着の注文方法は後日、注文票をお配りしますので記入して提出をお願いします。頭髪や服装に注意点というのは、これはもう以前と同じですのでお読み取りください。靴や靴下・上履きに関しては、このようなかたちです。基本的に賀茂中学校と西伊豆中学校は同じでしたのでこの辺は変わっていません。7ページです。カバン等ですけれども、新入生は背負い型ですけれどもとても機能性が高いカバンになっています。それが圧倒的にこのカバンが良いということで先生方にも選んでいただきましたけれども、それを優先させていただきました。2年3年生については、従来のカバンで結構ということで、ちょっと壊れているということであれば先代の物でも構いませんということです。それから、学用品についてですが、新入生は必要な物は物品購入していただきますが、2・3年生は特に購入する物はありません。新学期になって、学年で用意するということになると思いますので、新しい学校になったからと言って2年3年生は購入する物はありません。その他の準備になりますが、学校名は特に賀茂中学校の生徒は西伊豆中学校になるので校名の変更になります。学級名は1年A組、2年B組というようにアルファベットになります。クラス替え等がありますから、2年3年生については確かめてから記入していただければと思います。通学路の安全ということですが、特に安良里・田子地区の生徒と書いてあります。これはあとでまた説明しますが、旧西伊豆中学校の生徒はすべてバス

通学になります。自分の乗車予定バス停の位置やバスの時間をしっかり確認しておいてもらうことが一つとそれから大沢里・仁科地区の生徒は自主運行バスで神田行きというバスに乗車してもらうため、賀茂小学校の前まで行きますので賀茂小学校のバス停で降りて、グラウンドを通過して校舎へと入ります。田子・安良里地区の生徒は路線バスに乗車していただくことになるので、路線バスは神田の方を回りませんので宇久須バス停という所で降ります。そこから国道を横切るとふれあいの小径という通学路がありますので、そこを10分程度になりますけど歩いて通学ということになります。それから、新入生はメール配信の登録ということでこれも登録の方をすぐメールを使ってというすぐメールをそのまま行うということに決まっています。8ページは今まで言ったことを保護者の方に確認してもらいリストを一応ご用意させていただきました。それから通学援助ですが、援助の対象ですけれども令和3年度より以下のような通学援助ということで、これは令和3年から5年度までの特別な制度ということになります。全額援助ということで、旧西伊豆中学校区の1年から3年生の定期代、安良里地区の1年から3年生の定期代が全額援助ということになります。それから、役場の担当を今、建設の方で施設整備係が行っていますが4月からは学校教育係の方が担当するということになります。定期のスケジュールですけれども、そのようなかたちで名簿を作成して、購入の手続きをして4月に定期の個人配布ということになりますが、購入は教育委員会が直接、東海バスからまとめて購入します。そして、購入した定期は学校を通して対象生徒に配布する予定であります。下に書いてある係はこうなります。ここまでが一応、通学援助についてです。ここままで何かご質問があれば、お伺いします。

#### **委員長**

はい、途中でですけどここまでの説明の中で何か質問はありますか。

#### **椿 委員**

1番の制服ですが、在校生の2年生や3年生の制服が壊れましたとそうした時に新しいブレザータイプが欲しいんですけどと言った場合には、どうなるんですか。

#### **齋藤専門員**

購入は可能です。ただ、皆さん学生服なのでスーツというのは如何なものか。購入は可能です。

#### **委員長**

その他、ありませんか。

#### **仁科小学校PTA会長**

定期券なんですけども、定期券は月単位。それとも何か月間とかあるんですか。

#### **齋藤専門員**

3ヶ月、4ヶ月単位で購入しようかと思っています。今、ウィークデイ定期にすれば、日曜日にも乗れるかというところが検討中ということで。現状はウィークデイ定期ということで土曜日に部活等があると部活の先生からチケットをもらって、払うというかたちになっていますけれども。その辺、どうなるのか、ちょっと今、

学校教育係の方で検討しております。

**仁科小学校PTA会長**

もし、紛失した場合というのはどうなりますか。まだ、決まってないのかもしれませんが4か月単位だと、もしいざ自分で負担してくださいとなったら結構な額になるんじゃないのかなど。

**齋藤専門員**

今まで紛失したとかそういうことはないんですけど。

**仁科小学校PTA会長**

まあ、そうですけど。もし。

**委員長**

これは基本スクールバスなので、宮ヶ原から神田に行くバスはスクールバスなので貸し切りバスだから、別に定期券を見せることはない。

**齋藤専門員**

自主運行バスになるので、住民の方も乗れるバスになります。

**委員長**

それは定期券も必要。

**齋藤専門員**

定期券も必要だと思います。

**委員長**

必要なんだけど、どこまで定期券で乗れるの。朝は神田まで行くから小学校の前まで乗れるのでしょ。

**齋藤専門員**

基本的に小学校の前まで降りても、バイパスの宇久須停留所で乗っても、宇久須の旧のバス停で乗ってもいいようにというようところで今回一応確定ではないですけども、そういう方向で今、話は進んでいます。

**委員長**

それははっきりした方が良い。小学校前までの表示の定期券が使えるのか、料金が同じだったら宇久須まで乗れるのか確認をしておかないと運転手によって変わったりする。もう一つ、制服の件について何年生から新しい制服になるの。

**齋藤専門員**

今の6年生ですから、来年の1年生ですね。1年生から新しい制服になります。

**委員長**

ということは、新しい学校で新しい制服ではないということ。

**齋藤専門員**

そのまま継続されます。中学校だけがこの制服になりますので小中一貫校の7年生から制服を着ることになるので、統合の時から新しい制服でいこうということで、これは一応ここでも承認を得ましたのでその方向で進めています。

**委員長**

私にこども園の父兄の方から何人からも話があるんですけど、新しく揃えると7万から10万くらいかかる。

**齋藤専門員**

ジャージとかいろいろな物を含めるとそれくらいかも知れません。

**委員長**

いずれにしてもそれは揃えなければならない。だいたい総額で7万くらいかかる。今、現在の金額はいくらですか。

**齋藤専門員**

制服に関しては、材質があるのでいろいろなものについて特化しますと今、学生服の方は40,000円から46,000円。それが新しい制服ですと36,300円というふうになります。ですから、新しい制服の方が安いです。それから、セーラー服の方は37,500円、賀茂中学校は37,900円ですけどもセーラー服の下にセーラーズコンビというのを着るということになるとほぼ39,000円で、新しい方の制服は38,500円ですので、ほぼ同じくらいです。ちょっと値段的に高くなるのはジャージが上下で今、10,000円くらいですけども12,000円程度になります。そして、カバンが今、8,900円から8,500円程度ですがこれが10,750円ということでちょっとカバンの方はボリュームがあるので少し高くなっています。ただ、この金額に関しては消費税が10%になったのですが業者の方がすごく抑えて、新しい制服だということで勉強してくれている金額になっています。

**委員長**

我々の時代は2万か3万円くらいで済んだ。私の耳に入ってくるのはやはり7万くらいかかるので、もう少し単価を下げたいという声が聞こえてきます。それともう一つ、補助的なものはないのかと、新しい制服を揃えるのにそういったことも要望してもらえないかという話も私の耳に入っています。そういった部分もちょっと勉強してもらいたいなと思っています。

**齋藤専門員**

補助のことは、教育長をお願いします。

**教育長**

制服の補助については、たとえば下田の方ですとそういうのが出ているという話を聞いたことがあるんですけど委員会としては、ただ今検討しているところです。いわゆる、どの程度まで補助するのか、どの学年まで補助するか、いろいろな考え方があるわけで、まだ結論は出ていませんけど、できればそういう方向で行ければとは思っています。

**委員長**

是非、教育長、半分までとは言いませんが多少なりとも補助していただけたらありがたいです。その他、ございませんか。それでは、齋藤先生続きをお願いします。

**齋藤専門員**

では、10ページの方を開いてください。PTA組織の方に行きたいと思います。

P T A組織は会長1名、副会長3名、書記1名、会計1名というかたちで決まりました。地区割に関しては、松崎高校とほぼ同じにさせていただきました。開校初年度となる令和3年度については、現西伊豆中学校より会長1名、副会長1名、賀茂中学校より女性の副会長を選出するというのでP T Aの方は決まっています。評議員ですけれども、大浜・浜・沢田・堂ヶ島・小田瀬・野畑から2名、大沢里・一色・中・築地より2名、田子より2名、安良里・宇久須より2名ということで評議員を決め、8名で構成されます。それから、専門部は2部にしました。教養部と厚生部という2部制にしました。学年保護者会は1年・2年・3年という保護者会ですけれども、当面は旧中学校区で1名ずつ。ですので賀茂中学校区で1名、西伊豆中学校区で1名、学年役員は選出するというので決まっています。主なP T A活動は下記をご覧くださいと思います。P T A会費ですけれども、すり合わせをしまして5月に現金一括集金で3,300円ということに決まっています。11ページですが、学年費及び給食費。ここにありますが、集金の方で使う学年費は以下のような内容で金額を決定して、毎月10日に現金集金とさせていただくということで、西伊豆中学校が3,000円で賀茂中学校が3,100円というのが令和2年度の予定になっています。この辺をまだもう少し詰めていますけれども、この程度の金額ですということで保護者説明会の方には伝えてあります。生徒活動後援会費、これは要するに部活動の遠征ですとか英語の発表大会、河津駅伝とかそういう子どもたちが部外での活動の援助ですけれども、年間4,300円。これは西伊豆中学校の実績ですけれども、この金額をこの程度集めていますというところで報告して、この辺が流動的になると思います。給食費ですが、西伊豆中学校は5,560円、賀茂中学校は5,900円。この差は何かというと、生徒数の食数になるので今後は安い方に落ち着くのではないかなというところで。ただ、北部給食センターと南部給食センターというのがあって、そこでの兼ね合いもあるので金額等は今、局長の方が所長を務めているので、今、金額を詰めています。払込みに関しては、毎月5日の口座振替ということでさせていただき、この3銀行を指定させていただきました。12ページですけれども、学習指導についてですけれども、教科担任制を取りますということ。それから、授業については基礎・基本を身に付けて、自主的・主体的に学ぶというようなことを大事にしたい。テストについては、期末テスト・実力テストを行って学習に活かしたい。それから、三者面談も三者で1学期・2学期末に面談を行いたいということです。補講ですけれども、放課後や長期休業中に復習や練習を行う補充学習を実施していきたいというふうに計画しています。13ページに関しては、日課表です。これは西伊豆中学校の令和2年度のものですけれども、統合中学もこの計画で基本ということになりましたので、バスの時間もこれに合わせて設定させていただきました。14ページです。主な学校行事ですけれども、4月から3月まで様々な主なものをこれ以上にまだありますが、代表的なものを月ごとに整理して載せてあります。15ページの健康管理ですけれども保健室の関係になりますが、登校前は家庭でも健康観察を行い、コロナ等もありますのでお願いするということ。

それから保健室の利用は以下の対応を行いますということで6つに対応をしています。この辺はまたお読み取りいただければと思います。出席停止ですけれども、そこに5つの病気がありますけれども、これ以外もあるんですが特にインフルエンザ等は出席停止になるというようなところは学校に申し出てくださいということでこれも証明書等があります。それから学校管理下の災害については、登下校も含めて日本スポーツ振興センターの災害給付金の対象になるということでこの辺もまた確認させていただきたいと思います。16 ページですけれども、緊急時の対応ですけれども緊急対応マニュアルというのを4月に各家庭に配布します。そこには登校前と在校中というところでこういうふうな待機をしますということで取り決めをしています。6時の段階で警報が出ていたら、自宅待機ということで、数年同じです。ただ、今までは賀茂中学校、西伊豆中学校というところで校区的にはそんなに広くはないんですが、今度はかなり広い校区になるので判断等なかなか厳しいところがありますが教育長と校長がそこで連絡を取って行うと思います。それから、2番の南海トラフに関してはこれも登校時、それから在校時、帰宅時と細かく決まっていますので、その辺もまたPTA総会等で話も出て来るのではないかと思います。それから、最近不審者もありますので近隣の場合は「すぐメール」で配信。それから、必要に応じて引き渡しをする場合等もあるのでそういう場合もご協力くださいということが伝えられると思います。ここまでで何かありましたらお願いします。

#### **委員長**

何か、質問がございましたら。また後で質問ということで。

#### **齋藤専門員**

では最後、学校生活についてよろしくお願いします。17 ページです。登校時間は7時30分から8時の間ということでバスの時間等含めると一番早くても7時半くらいに学校に到着するということになるので7時半まで学校の校舎に入れないということにさせていただきました。ですので、部活動の朝練はないということになります。それから、欠席等の連絡は必ず保護者が連絡するようということですが、なかなか最初のころはバスの登校に慣れないところがあって、落ち着かないと思いますが追々慣れてくるのではないかなというふうに想像しております。学校の決まりですけれども、本校の生徒たちが守る決まりということで生活の約束概要をそこに載せてあります。それから不要物は持って来ないということ。その他の決まりということで、18 ページに細かく決めてあります。この辺もどの学校も同じだと思いますけれども、細かく決めてあります。学校生活のことが主ですが書いてあります。それから、登下校時の経路ということがあります。登下校時は以下の経路を利用しますということで、バス通学の生徒で宇久須バス停に下車した生徒は各バス停から宇久須バス停で下車して、防災センターの横から信号国道を渡って池田病院の所になります。池田病院の所を左折していただいて、40mくらい過ぎると用水路があり

ますのでそこをずっと沿って歩いて行くとふれあいの小径という名前が付いています。レンガ作りの素敵な道ですけれども、そこを歩いて行くと西伊豆中学校に着くということになります。それから、バス通学の生徒で学校前のバス停で下車する生徒は停留所からすぐ正面に正門がありますのでそこからグラウンドを歩いて昇降口から入るということになります。徒歩通学はこれまでの賀茂中学校で設定されていた道がありますので宇久須地区の生徒はそこを歩いて行くとということになります。それから、下校時のバスの時間ですけれども各バス停の乗車時間は後日配布します。また、バスのことは詳しくこのあと説明させていただきます。19 ページの生徒会ですけれども、生徒会活動というのは下記の組織で生徒会活動を実施しています。任期は11月から翌年10月。専門員会は前期が4月から10月、後期は11月から翌年3月までということですが初年度に限っては西伊豆中学校の生徒会長と賀茂中学校の生徒会長は選ばれていますので初年度の前期に限っては2人の生徒会長が存在するというかたちで進めさせていただきたいと思っております。組織図はそうなっています。部活動ですが、男女バスケット部・男女バレー部・男女テニス部ということで文化部の方は顧問の関係もあって今回組織できませんでした。スポーツ関係の人たちだけになりました。それから、専門委員会の方はこのような通りです。いずれかに所属していきたいと思っております。続いて20 ページです。登下校のバスダイヤについてとなりますが、登校のバスですけれども4本ご用意させていただきました。まず、松崎を6時50分に出る。これはバイパスの宇久須着になりますけれども、ふれあいの小径を歩いて行くようになります。宮ヶ原を6時50分これは自主運行バスですけれども神田行き。これは賀茂小学校前に着きます。もう1本、松崎発7時5分のこれも自主運行バスで神田行き。これをもう1本なぜ出すかという乗り切れないということが一点と下築地から乗車する子どもたちは松崎から始発しないと乗れませんのでそこを留意させていただきました。神田に7時40分着ですので、学校前に7時36分頃着くのかなと思っております。それから、定期路線バスで7時10分。これは宇久須の駅に7時38分に着きまして、そこから10分くらい歩くので7時50分程度には学校に着くと、この4本で登校を担います。下校バスダイヤは学校の方からの要望で4パターン用意して欲しいということでしたので用意しました。まず、通常です。17時くらいに終わる下校のバスを3本。これも3本ないと100名くらいの生徒がおりますので、乗り切れないということで3本、うち2本は自主運行バスになります。そして夏季特別5月から7月、これは部活動をもっと少し長くやりたいという時期が5月から7月ということでそこも設けてもらいたいということで自主運行バスを下校バスから1時間伸ばした時間で設定させてもらっています。これが3本あります。それから水曜日は職員会議等がありますので部活動がありません。ですので、そこでその水曜日に乗るバスも用意して欲しいということでした。これも自主運行バスを3本用意させていただきましたが、1本は宮ヶ原の方へ行くバスが15時19分に学校発になりますがこの時間ですとちょっと学校から5時間目が終わってちょっと時間があるんですが、なぜかと言う



と仁科小学校の子どもが来年4年生に3人大沢里の子がいるので、渡邊校長先生に言ったら15時40分前後に築地橋を通ってくれたら良いということで。水曜日はちょっと早いんですけども4年生ということを見ると月曜日から金曜日までは6時間授業が多くなるので、この時間で設定させていただきました。ですので、水曜日のバスはこのようなかたちになります。それからもう1本、土曜日に部活動をやりたいということで帰りのバスをなんとかして欲しいということでしたけれども、この場合は大沢里方面のバスを確保しないと。あとは路線バスでなんとかクリアできると思います。この土曜日の部活動に行くバスは登校バスで行く。ちょっと早いですが、部活動はこのようなかたちでやっていただくということになります。路線のイメージ図は21ページになりますけれども、緑色の宮ヶ原から神田線・水色の松崎から宇久須線・ピンクの松崎から神田線、これが自主運行バスになります。赤色が松崎から修善寺線という東海バスの路線バスということでこのようなかたちの路線バスが運行されます。どういう停留所に停まるかということと22ページに各バス停留所図を用意しました。自分のお子さんがどこの停留所になるのかということを確認していただけたらと思います。そして最後に23ページ、「開校ガイドブック」の発行はこのような目的でということで付けさせていただきました。以上ですが、この資料を使って11月5日（木）に増進センターの方で保護者説明会をやってよろしいかお伺いしたいと思います。以上です。

#### **委員長**

何か、質問はありませんか。今、説明がありましたが。自主運行バスの下校に関して、学校前で乗るバスも自主運行バスで宇久須駅から乗るバスもこれも自主運行バスですか。

#### **齋藤専門員**

はい、そうです。

#### **委員長**

自主運行バスだったら、行き帰り学校前から乗れるようにして良いのではないかな。

#### **齋藤専門員**

まちづくり課の方からいただいた資料なのでこういうふうになっていました。たぶん、住民の利用もというところでこのような経路になったのだと思います。

#### **委員長**

自主運行バスだったら、学校の方から出しても宇久須から出しても料金が変わらないのなら、学校前から乗れるようにしてあげるよう依頼した方が良いでしょう。

#### **齋藤専門員**

確認いたします。

#### **委員長**

その他、何かありませんか。無いようですので、この内容で良いのか。それとこの冊子を使って説明会をしても良いのか承認して欲しいのですが、よろしいでし

ようか。良いか悪いか、賛否両論あるとは思いますがよろしいですね。はい、わかりました。これをお願いします。全体に対して、何か質問はありませんか。先生方、何かありませんか。大丈夫ですか。無いようですので、1時間半程度経ちました。

それでは、その他のことで事務局の方から何かありませんか。

**事務局長**

それでは、事務局の方から報告させていただきます。次回の開催予定ですが、12月の中旬を予定しております。また、後日お知らせをいたしますのでご出席の方をよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

**委員長**

事務局長、12月はだいたいどういう恰好でこの会を開くかは想像がつく。

**齋藤専門員**

保護者説明会の報告とそれから2月に行います新入学の説明会について資料等ご用意できたら、それを見ていただきたいです。

**委員長**

こども園がどうなってるか、だいたい結論は付くよね。

**事務局長**

文教施設整備事業についても結果報告させてもらえればと思います。

**委員長**

12月まで待てば、なんとか方向性というのは何とかなるよね。

**事務局長**

当然、報告できると思いますのでそこで報告させていただきます。

**委員長**

そういう感じで12月中旬の予定をしていますのでまたお願いしたいと思います。それでは、その他ありませんということですので協議を締めさせていただきます。

**事務局長**

ありがとうございます。それでは、閉会を近藤副委員長の方からお願いしたいと思います。

**副委員長**

それでは皆さん、活発なご意見ありがとうございました。前回も言ったんですが町の提案に際していろいろな議題や問題があった時、それを見直すこともあり、なかなか町の大きな事業を行うことなのではないかなと思います。できたら、今後変更、変更ということがないようにお願いしたいと思います。ここまで来たら、計画案が決まったと思うので、皆さん、また協議の方、よろしくお願いいたします。本日はご苦勞様でした。

以上